

市議会だより



市議会ホームページ

発行／喜多方市議会 編集／議会広報広聴委員会



6月定例会

こども園管理運営経費など可決

特集 慶徳稲荷神社の御田植祭	2
6月定例会議案審議	5
一般質問に18名が登壇	8
請願・陳情の処理経過	18

特集 慶徳稲荷神社の御田植祭

今回は慶徳稲荷神社の御田植祭の紹介と祭りに参加した児童の感想をご紹介します。

最後のお田植え祭り

慶徳小6年

おおたけ はるか

大竹 遥佳 さん



7月2日お田植え祭りをしました。気温は30度を超える天気の良い日でした。

初めの早乙女踊りでは、たくさんの人が集まっていた緊張したり、体調が悪くなったりする人も何人かいて、不安な気持ちがあったけど、最後まで踊りきることができて良かったです。

太鼓台を引いてみんなで地区の中を歩いたときはつかれたけど、楽しむことができました。

最後神田に入った時、はじめてで緊張したけど、4人で協力して植えることができました。

今日一日が無事に終わったのは、いままでの練習や教えてくれた方のおかげだと思います。

最後のお田植え祭りで少し悲しい気持ちはあるけど、今年は6年生として来年へのバトンを渡すことができて良かったです。

■「会津の御田植祭」とは？

御田植祭とは、神田などで氏子が儀礼的な田植えを行って豊作を祈る祭りのことをいい、西日本を中心に広くみられます。

会津地方は、近世以前から行われている御田植祭の日本の北限に位置し、その分布を考える上で非常に重要です。

また、会津の御田植祭にのみ、「デコ人形(田植人形)」と呼ばれる独特の人形が登場します。これは田の神の依代(よりしろ)とも考えられ、田植えの際には田の畦に立てられます。

このように地域的特色も豊かであり、稲作に関する農耕儀礼を考察する上でも大変貴重です。

会津地方の御田植祭で、今日まで伝統的な形を継承しているのは慶徳稲荷神社、伊佐須美神社の両御田植祭のみとなっています。

■「慶徳稲荷神社の御田植祭」の歴史と特徴

慶徳稲荷神社は、明応年間(1492～1501)、慶徳村の地頭であった平田石見の守(ひらた いわみのかみ)が神田を寄進したことが始まりとされています。

江戸時代に入って一時中断しますが、会津藩の庇護(ひご)もあり、天保5年(1834)に再興され、今日まで継承されています。

祭日は、慶徳稲荷神社では半夏生の日(7月2日、閏年は7月1日)に行われます。

祭りは、社殿での神事後、地区内を神輿(みこし)が渡御(とぎよ)して、神田で早乙女による田植えが行われます。

慶徳町では神輿渡御に狐の面と農具を持った子ども達(白狐)が加わり、早乙女が稲苗を植える際に苗を投げ入れ、田植えを手伝います。これは慶徳町でのみ見られる光景で、白狐は慶徳小学校男子児童、早乙女は女子児童が担当します。

あつかった お田植えまつり

慶徳小6年
いわさき ふく
岩崎 楓久 さん



ぼくは、7月2日にお田植え祭りをしました。初めて、笛を吹いたときは、簡単に音がでるので成長しているなと思いました。お田植え祭りが始まり、笛を吹きました。みんなと練習していた時より、音がきれいに合っていたので、うれしかったです。

歩いて吹いていても、音が出ていたので安心しました。最後に神田で、2回続けて吹きました。

とても暑かったけど、しっかりと吹くことができたのでよかったです。

最後のお田植えまつりだったけど、笛を吹くことができたし、精いっぱい頑張ることができたのでよかったです。忘れることのない素晴らしい思い出になりました。

最後のお田植え祭り をやって

慶徳小6年
いしだ たけゆき
石田 岳幸 さん



7月2日にお田植え祭りをしました。

練習では、ゆっくり笛を吹いたり、歩きながら吹いたり、高い音を出す練習をしました。

本番では、歩きながら、笛を吹きました。練習では、出すことができなかった高い方の音を出すことができました。

演奏の最後には、神田で笛を吹きました。神田では、まちがえないように、しんちょうに笛を吹きました。笛は二回吹いて、両方高い音を出すことができました。

最後のお田植え祭りだけど、しっかり笛を覚えて吹けたし、高い音も出して笛を吹くことが出来たのでよかったです。

来年は中学生になるので、みんなの応援をしたいと思います。

小学校最後の お田植え祭り

慶徳小6年
ばんない るな
坂内 瑠菜 さん



私は、7月2日の半夏生の日に慶徳の伝統あるお田植え祭りに参加しました。

練習の時は、今年で3回目だったので覚えるのも早かったです。前半は音楽をとおして少しずつ練習し、後半は、神社で踊るときの練習と田植えの練習をおこないました。私は、小学校最後のお田植え祭りだったので、いっしょうけんめい練習をしました。そして、ついに待ちに待った当日です。

くもっていた空もしだいに明るくなり、晴れて暑くなってきました。まず、神社のところで踊りました。暑かったけど頑張って最後まで踊ることができました。そこから田植えをするところまで歩きました。田植えでは、練習のことを思い出して一つ一つていねいに植えることができました。最後まで踊りや田植えをすることができ、本当に良かったです。

お田植え祭りの感想

慶徳小6年
さとう あやね
佐藤 絢音 さん



私は、7月2日日曜日にお田植え祭りに参加しました。

公民館で着付けをしてもらいました。着る服が多かったので暑かったです。みんなのしたくが終わって、ぞうりをはいたら稲荷神社に行きました。巫女の役づけになりました。今まで学校で暑い中、何度も練習してきたことが頭に浮かんでいました。今日は小学生最後のお田植え祭り、素晴らしい思い出がたくさんできるように心に誓いました。境内での踊りが始まりました。早乙女たちが踊っている途中、私は熱中症で救護の所へ運ばれてしまい、みんなに申し訳ないと思いました。また、町内も歩けなかったのでつらかったです。しかし、最後の神田での田植えの時に行くことができ、見学することもできたので、気分も良くなりました。小学生最後のお田植え祭り、私は今まで一生懸命に取り組んできたので、くいはありません。お田植え祭りの伝統を守ることができました。

こども園管理運営経費など可決

6月定例会

令和5年第5回6月定例会は6月1日から6月15日までの15日間の会期で開催されました。
市長提案により、報告6件、令和5年度予算案7件、条例案12件、その他3件と、請願1件、陳情2件、議会から議会案1件が提出されました。

令和5年度 6月補正予算

会 計	補 正 額	総 額
一 般	8億1,138万6千円	274億5,424万4千円
特 別	△578万9千円	117億4,802万9千円
下水道事業(収入)	一千円	20億1,163万7千円
// (支出)	696万2千円	23億1,308万0千円
水道事業(収入)	1,372万1千円	12億9,429万5千円
// (支出)	△700万7千円	19億8,591万7千円

補正予算の主な事業

地域振興経費



【補正額370万円】
コミュニティ助成事業補助金

こども園管理運営経費



【補正額1億2,902万円】
すぎっここども園園舎増築工事

地球温暖化対策経費



【補正額1億1,594万円】
カーボンニュートラル実現重点対策加速化事業補助金

子育て世帯向け定住促進住宅等整備事業費



【補正額1,861万円】
子育て世帯向け定住促進住宅建設工事

議案審議・委員会の審査から

DX推進協議会設置条例について

今後の更なる人口減少社会を見据え、希少化する人的資源を本来注力すべき業務に振り向けるため、地方公共団体の業務のあり方そのものを刷新することが必要である。

本市としてもデジタル技術やデータを活用して市民の利便性を向上させるとともに業務の効率化を図り、行政サービスの更なる向上につなげるためのDX基本計画を策定し、その推進に関する計画等の調査審議を行う協議会を設置するもの。

問 DX推進は個人情報保護の強化と一体で進めるべきと思う。

協議会の検証の中に含まれるのか伺う。

答 DX推進基本計画の中に情報セキュリティの強化をうたっている。

協議会の検証の項目に個人情報の保護の実施状況の検証も入っている。

問 協議会の委員16名の内容を伺う。学識経験者はどうするのか。

答 現在の想定としては、委員長に会津大学の方、関係者として金融、農業、商業、工業、中小企業、青年、福祉、会津振興局、公共職業安定所の方々と公募者5名程度を考えている。

学識経験者としては、一例としてテクノアカデミーの方などを想定している。

問 本市のシステムの比較分析を行うとあるが内

容を伺う。

答 20の基幹業務が対象となる。全国統一の自治体標準化システムと比較して、必要なものと不必要なものとの分け内部で調整することになる。

問 市民へのサービス向上と共に職員の負担軽減

コミュニティ助成事業補助金について

宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業。

問 この補助金として370万円が計上されている

も考えて欲しい。年2回の審議会を開催する予定だが、回数を増やしてスピードアップできないのか。

答 本年は2回の審議会開催予定だが、予算の都合もありすぐには増やせない。令和6年度は未定のため検討したい。

るが内容を伺う。
また、申請の件数はどの程度あるのか伺う。

答 まず1件は一般コミュニティ助成事業として、上高領行政区に対する盆踊りの櫓一式を更新するための補助金250万円である。

もう1件は地域防災組織助成事業として細谷自主防災会に対する発電機、LED投光器等の補助金120万円である。

申請は毎年2、3件になっている。

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金はどのような交付金か

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 1億1593万3千円。

この交付金は、国の「地域脱炭素ロードマップ」及び「地球温暖化対策計画」に基づき、「脱炭素先行地域」または「重点対策」の取組を意欲的に行う地方公共団体に対して、国が財政的な支援を行い、2050年度カーボンニュートラルの実現の達成に貢献することを目的にするもの。

問 交付金の具体的な内容は。

答

- 市有施設へのPPA太陽光発電導入
- 木質バイオマスボイラの導入
- 市有施設への調光型LED導入
- 太陽光発電設備導入に関する補助



▲太陽光パネル

問 PPA太陽光発電導入はこの施設を想定しているのか。

答 太陽光発電設備を塩川体育館へ設置し、発電された電気を塩川総合支所、塩川公民館で使用する予定である。

※PPAとは

自治体などが保有する施設の屋根や遊休地に民間事業者が発電設備を設置し、発電した電気を所有者が使う契約のこと

「めぐみプラザ」ネット遊具隙間クッション設置工事(275万円)の内容は

今年2月「めぐみプラザ」に遊びに来た一歳児がネットの隙間に足を挟み、擦り傷を負う事故があった。再発防止の修繕工事を追加予算で提案した。

問 昨年4月の開館で1年も経っていない。補償期間ではないか。

答 1年点検を3月に実施。その結果、遊具の安全基準を満たしており、補償の範囲ではないとの結果だった。

問 それはおかしい。ケガをしている以上、落着度があったという事であり、きちんと業者に対応させるべき。

答 再度、業者と話し合いを進める。

問 ケガをした子供の補償はどうしたのか。

答 保険制度には該当しない。しかし、施設と安全管理

上、重大な瑕疵が管理側にあった場合は保険が適用になると考える。

問 事故が起きてからでは遅い。危険防止の対策は。マニュアルは作成しているのか。2月の事故で6月補正では対応が遅い。

答 事故以降、入場時の注意喚起、スタッフの見回りを行っており、マニュアルも業者のものだけでなく、どのような項目が必要か検討・対応していく。設置した遊具メーカー対応による工事を行いたいという事で今回の補正予算計上となった。

問 使用上の注意喚起・安全確認等を5分位のDVDにまとめて入場時最初に見せてはどうか。

答 今後、検討していく。

森林・林業の再生。 広葉樹林再生事業とは

原発事故による被災地の森林・林業の再生を図るため、森林内における放射能物質の実態の把握、ほだ木等原木林再生の実証等、森林整備の実施に際して必要な放射線量の概況調査や森林所有者の同意取付、放射性物質の移動抑制対策等を実施する国の事業。

問 この事業が新規採択になった理由は。

答 今年4月に熱塩加納町相田地区で、キノコの原木としてナラの木（広葉樹）を使用したいと申し出があった。放射線量モニタリング検査を実施した所、国の指標値（基準値）50ベクレルに対し、54ベクレルと超過した測定値が検出された。所有者から同意を頂き、国の広葉樹林再生事業に申込み、4月中旬に採択されたので6月補正に計上した。

問 市内の原木の放射線量の測定はしているのか。事業の具体的な内容は。

答 市で各地区の放射線量測定は行っていない。原木を使用・販売を希望する場合は、放射線量の測定が義務付けられており、基準値を下回っているなら、使用・販売できる。市でも測定結果の連絡を受けている。事業の具体的な内容は、今回対象となる広葉樹林の皆伐面積は3haを予定し、作業道の作設は375mになる。伐採した樹木を集めるまでが、今回の事業である。

問 事業は集積までになっているが、その先の測定値超の材木については。

答 伐採業者と所有者との判断となっている。現在はチップ材として使用されている。チップ材の使用については、国で放射線量の指標値が示されていないが、現在企業等で自主基準が定められている。市においては実被害及び風評被害に対応すべく使用目的に応じた追跡や、使用基準など今後検討していく。

「ラーメンのまち喜多方」の事業内容が 具体化されていない中で補助金計上に疑問

「ラーメンの日」の記念日（7月17日）登録に合わせて「ラーメンのまち喜多方」の更なる振興を図るため、200万円の補助金を計上。

問 補助をする団体・組織は。

答 令和4年4月に商工会議所が事務局となり、老麺会、製麺業者、飲食店、観光物産協会や喜多方市を合わせて喜多方ラーメンブランドプロジェクトを設置した。市として実施するよりも、昨年度からいろいろ協議してきたラーメンブランドプロジェクトの中で、実施していただくことがより効果的と考え、プロジェクトへ補助金を支出する。

問 事業内容は。

答 内容は、具体的には決まっていないが、予定として、ラーメン関連のイベントや、ステッカー、のぼり旗といった、啓発グッズの作成、またはラーメン店のPRなどが考えられる。今

後、ラーメンブランドプロジェクトには、ラーメン業界の方や、市も関わっていることから一緒に補助金の使途について協議していく。

問 関係者間での具体的なものが何も決まっていない段階で補助事業化するのは、いかがなものか、しかも、200万円、10分の10を補助するのは考え直すべき。

答 予定している事業について、今後、精査した中で、実施する事業に応じて補助金の支出を考えていく。

口頭付言

「ラーメンのまち喜多方」振興事業補助金について、本会議及び委員会での質疑をとおし、事業内容について明かな答弁が得られなかったことは、補助金事業を予算化する執行部としては、十分な精査が行われなかったことを指摘せざるを得ない。今後このようなことがないように、慎重かつ丁寧な予算計上をされたい。

喜多方市政のココが知りたい！

一 般 質 問

一般質問は、市政全般について市の方針を質すものです。

6月定例会の一般質問は6月1日から6月15日までの15日間行われ、18名の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

文面は各議員の自己編集とし、質問した項目の中から1項目程度を要約して掲載しております。(すべての質問項目は、オンデマンド配信でご覧いただけます。また、会期中はインターネットで中継を配信しています)



※各議員のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、オンデマンド配信でご覧いただけます。



本市のごみの減量とリサイクル率の向上をどうするのか

市長 3Rの啓発活動を強化し、資源物の分別徹底をしていく

問 ごみの減量とリサイクル率の向上に向け、今後の具体的な取り組みは。

答 ごみの減量については、ごみの発生抑制や食品ロスの削減等のリデュースの啓発、衣類や家具の再利用を促進するリユースの啓発活動を強化する。また、燃やせるごみの約50%が紙・布類、約10%が生ごみのため、これらを資源化できれば減量化につながると考えている。3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動の啓発を基本に、資源物の徹底や環境に配慮した消費行動を市民及び事業者等へ周知啓発していく。

十二村 秀孝 議員



問 野球の設備や道具が足りないベースボールファイブは小中学校の授業や生涯スポーツとして取り入れやすいと思うが、市の考えは。

答 児童生徒の運動能力の向上に魅力的なスポーツであると考えている。
今後、課題の整理をしながら学校等での取り組みについて研究していく。生涯スポーツとしては、地域のスポーツイベントなどを取り入れることができるか、ルールや技術習得、指導者の養成の課題を含め、市体育協会やスポーツ推進委員会の意見を聞きながら研究していく。



国のバイオマス産業都市に応募すべきでないか



齋藤 仁一 議員



市長 一步でも早める大きな要因になるので、しっかり検討する

問 バイオマス利活用による脱炭素化推進について、市はどう考えているのか。

答 本市の自然的特性と産業構造を踏まえると、特に木質バイオマスと農業系バイオマスは、豊富な資源量があり、その活用は脱炭素化のために欠くことのできない重要なものと考えている。

これまでもバイオマスを活用したボイラーやストーブ等の普及促進や民間事業者のバイオマス設備導入を支援してきた。今後ともバイオマスの利活用について、民間事業者と連携、協働して、カーボンニュートラルの実現に向け取組んでいく。



▲蔵の湯のバイオマスボイラー

問 現在100を超す自治体が、応募、実践している国のバイオマス産業都市に応募して、カーボンニュートラル実現に取組んでいるのか。

答 2021年9月にカーボンニュートラル宣言をした。また2050年カーボンゼロを目指している。ロードマップを明確にするためにも、一步でも早める大きな要因になるので、しっかり検討する。



多様な働き方を生み出す環境整備をどう進める!

市長 テレワークなどの新しい働き方に関する取り組みを図る

問 自治体でDXが推進される昨今、業務負担軽減の効果的な手法として注目されているのがOCRであるが、まだ十分活用されていない。OCRによる帳票のデータ化は進捗しており、全件チェックが不要で、高密度かつ迅速に帳票をデータ化する仕組みが構築されており導入に向けた体制が求められるかどうか。

答 帳票をOCRでデータ化するに当たっては大量の紙データを読み取るような場面での活用が想定される。近年は、AIや専用オペレーターによって認識率が向上しており、OCRの有効な活用方法について検討していく。

佐原 正秀 議員



問 コロナ禍や国によるDX推進を背景に、本市でもテレワーク導入の機運が高まってきたおり、実施環境が整備されている。そこでソフトSIは、既存の通信環境を活用できるため、導入と運用のコストと手間を抑えられるため、庁内など場所を問わず利用が可能であり導入が必要と考えるかどうか。

答 テレワーク運用のコスト削減対策については、コロナ禍をきっかけに新しい働き方に関する取り組みの推進を図っているところである。

本市のDX推進基本計画の方向性の一つとして捉えているところであり、ソフトSIを活用した端末の導入を含め、費用対効果に優れた環境整備に努める。

日中線しだれ桜並木の外国人観光客への対応は!



市長 約900人が外国人観光客。今後外国人への誘導案内板設置を行う。

山口 文章 議員



問 部活動地域移行の進め方について伺う。

答 市内のスポーツクラブやスポーツ少年団、文化芸術団体の活動充実を図り、段階的に中学校の休日部活動の負担軽減を進め、中学生が積極的に参加できる環境を整備していく。また、今後の方向性を検討する組織を設置し、中学校の休日部活動の地域移行の実現に向け、関係団体や有識者と連携し進めていく。

問 公共施設の課題について伺う。

答 公共施設の多くは整備後30年以上が経過し老朽化が進んでいる。施設の更新や改

修、修繕にかかる財政負担の増加や施設機能の集約化が課題である。公共施設等総合管理計画及び、個別施設計画で施設の更新、集約化、長寿命化等を効果的かつ計画的に行う。またネーミングライツの取り組みなど検討し、財政負担軽減に取り組む。



高齢化・少子化が加速する中で福祉施策は急務ではないか!

市長 入所待機者の把握及び保育事業体制の維持に努める



問 本市の介護施設等への入所者の待機状況の実態をどのように捉えているのか、また対策はどうするか。

答 複数施設へ申し込まれている方の人数も含めた令和5年1月末現在における待機者数は1472人であり、昨年の同時期と比較して63人減少している。

対策については、第9期介護保険事業計画の策定に向けて実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果等を計画において基本的な方向性を示していくとともに、引き続き入所待機者の把握や適切な施設サービス利用の周知に努める。

遠藤 吉正 議員



問 予想を超える少子化により民間の保育園及び幼稚園は厳しい運営状況にある。市としてどのように捉えているのか、また対策は。

答 令和5年5月現在の市内民間保育施設20施設のうち、利用定員を下回ったのは14施設となっている。

また、令和4年度の出生数は205人と急速に減少している。今後、減少が続いた場合施設運営状況に影響をもたらすことが予想されるので、公立こども園の受け入れ定員の段階的な縮小や公立・私立保育施設の役割分担を図りながら子どもの減少やニーズに合わせた教育・保育事業体制の維持に努める。

予約型乗合交通の利用者増加策は!



市長 西部エリアにものる一と喜多方(みんなえ号)を

後藤 誠司 議員



問 高郷町の地域公共
交通については、
路線バスの荻野・坂下
線が利用者数の減少や
市負担もあり、令和3
年9月末に廃止され、
予約型乗合交通の揚津
コース、磐見コースに
組み込まれることとな
った。そこで今後の利
用促進について伺う。

答 これまでの利用状
況の検証を行うと
ともに、運行便数・ダ
イヤの見直しや午後便
の当日予約対応、地域
の特性に合った目的
への移動を可能とする
ため、会津坂下町内
における新たな指定乗
降場所の設置等を行い
、利用の促進に努めて
きた。

問 利用者増加策と周
知についてはどの
ように図るのか。

答 現在喜多方・熱塩
加納・塩川地区の
東部エリアにおいて、
のる一と喜多方(みんな
え号)運行実証を行
っており、その検証を
踏まえた上で令和6年
度以降、西部エリアと
なる山都・高郷地区に
展開する予定である。
周知については、公共
交通総合パンフレット
の全戸配布や市の広報
紙・市ホームページ・
SNS等による周知を
行っている。



▲予約型乗合交通 (みんなえ号)



塩川町の災害対策について伺う

市長 排水ポンプ4台の増設、大型ポンプ車用排水釜場を設置する

問 昨年8月の豪雨災
害の検証を受け
て、塩川町の内水氾濫
対策をどうするのか伺
う。

答 まず、別府地区に
排水ポンプ2台と
他地区用2台のポンプ
を導入して、大雨時の
排水業務を市内業者に
委託する。次に身神川
の暗渠内部のゴミ堆積
の点検を6月末迄に実
施すると共に、排水機
場に固定式の鉄製スク
リーンをつけ、除塵機
を付けるための実施設
計に着手している。更
に、排水機場の能力を
超えた場合のために河
川事務所の大型ポンプ
車を活用するため、排
水機場の東側に集水枡
となる排水釜場を設置
する。

小島 雄一 議員



問 寝たきりなどのよ
うな避難行動要支
援者の緊急避難をどの
様に支援するか?

答 立ち退き避難や垂
直避難など状況に
応じて対応する。
警察や消防、自主防
災組織と連携して対応
する。

問 境見川の整備計画
はどうするのか?

答 現在護岸詳細設計
を進めている。ま
た、取水堰撤去の調整
をしているのでその支
障とならない上流区間
で工事着手を検討して
いる。



▲増設された排水ポンプ

動物愛護、関係団体との連携を



渡部 一樹 議員



市長 今後連携していく

問 動物愛護行政は主に県において取り組まれていると認識しているが、本市における課題は何か。

答 猫の放し飼いや餌い主不明の猫へエサを与えるなど、管理面において課題があると捉えており、動物の適正な飼育、管理及び接し方について周知・啓発を図っていくことが重要であると考えている。

問 市民や飼い主の方へ動物への接し方や飼い方について、より積極的な周知が必要ではないか。

答 今後も様々な方法により周知・啓発を図っていく。

問 今春には猫の保護活動を行う民間団体が発足した。ボランティア等民間団体との連携協働の現状は。

答 現在、連携・協働は行っていないが、今後、他自治体の取組事例を参考にボランティア等民間団体と連携していく。

問 災害時におけるペット連れ避難者を受け入れる体制整備の現状はどうか。

答 喜多方市地域防災計画に動物救護対策として定められており、これに基づき避難所の設置に対応している。



看護・介護職の人材不足に対する市の対策は



市長 補助金制度継続、育成と地元定着化促進に努める

問 本市では医師・看護師確保事業支援補助金制度があるが、同補助金の増額及び介護学生に対する補助金制度の創設を検討している。有資格者が増えれば、市民がより安心して医療・介護サービスを受けられるものと考ええる。

答 補助金制度の継続と介護パワーアップ事業を行いながら、よりよい制度になるよう検討していく。

問 医療・福祉・保育従事者の所得は全国平均所得からみて低い。国の基準上、報酬等が決まっており、給与アップには限界がある。生命維持のための

答 国や県の物価高騰の取り組み等を注視しながら、情報提供していく。

問 商業・観光に関する提案と市の対策について、長期コロナ禍後も、市内の事業者は今まで以上に工夫を凝らし誘客並びに事業展開を行っている。専門性の高いコンсалタの誘致やイベント補助金拡充などの策を講じてはどうか。

答 コンサル誘致については有効性の研究をしている。イベントについては必要な支援をしていく。

渡部 忠寛 議員



豊かな山林の再生について問う!



高畑 孝一 議員



市長 森林経営管理制度による森林整備を進める

問 本市の森林経営管理制度による取組の現状を問う。

答 高郷町大田賀地区の森林29haを対象に意向調査、測量、境界確認を実施。市に経営管理権を設定するため19haの計画作成。熱塩加納町田中地区でも同様に34haの計画を策定した。

今後、所有者と合意のうえ、経営管理権を市に設定し「意欲と能力のある林業経営者」に再委託し森林整備を進める。

問 林業で自立経営できる就労支援は。

答 国の「緑の雇用」事業を活用した研修の案内を実施。また、県の「林業アカデミー



▲荒れる山林

問 薪としての利活用もあるが、焼却灰の放射能レベルは問題がないか。

答 焼却灰については指標値を大きく下回っており問題ない。

ふくしま」の受講を勧めている。林業経営への支援は、機械導入の上乗せ補助、間伐材の搬出等への補助。令和元年度から「菌床きのこ生産施設整備事業補助金」の創設。今年度から「ナメコ生産支援事業補助金」や「菌床ナメコ生産施設整備事業補助金」を新設し、支援している。

AI「のるーと喜多方」周知方法と改善は!



市長 利用促進に向けた取り組みを行う

問 昨年10月より運行を開始し、今年4月からエリアが拡大したが、利用者に対してはどのような方法で周知をしているのか。

答 のるーと喜多方（みんべえ号）リーフレットおよび公共交通総合パンフレットを全戸に配布、市広報やホームページ、SNSなどにより周知を行っている。

問 アプリでの予約が難しい高齢者の場合は、受付センターへ電話で予約するため、予約センターの電話がつながりにくい。今後どのように解決していくのか。

答 混雑する午前中を避けて予約すること

坂内 まゆみ 議員



とを勧めるなど、受付電話の混雑緩和に努めている。アプリの利用を促進するため市内団体等への出前講座の開催、さらには市内携帯ショップ等と連携したスマートフォン教室を開催するなど利用促進へ向けた取組を行っている。

問 運行事業者へ安全管理や対応について指導しているのか、指導後の調査は徹底しているのか。

答 運行事業者に対しては、安全運行や親切丁寧な対応について、運転手へ指導を徹底するように求めた。



児童クラブのエアコン未設置施設へは早急に設置すべき



菊地 とも子 議員

市長 今後、設置について検討する



問 児童クラブのエアコン設置状況は。

答 児童が学習や読書などをして静かに過ごす部屋については、小学校の空き教室で運営している児童クラブの一部屋を除き、全室に設置している。また、遊戯室については、5施設で未設置となっている。

問 未設置施設へは早急に設置すべきではないか。

答 今後、設置について検討する。

問 建物の面積に対する利用人数は問題ないのか。

答 全ての児童クラブ施設において、条例で定める専用区画の面積基準を満たしている。しかし、一部の児童クラブにおいては、高学年の利用が多く手

狭な状態にあるため、新たに施設を確保するなど対策が必要と考えている。

問 透析患者への支援内容は。

答 医療費助成のほか、人工透析患者通院交通費助成事業として通院交通費に関する助成を行っている。人工透析治療については受診が頻繁となることとがほとんどであり、通院するための交通費も高額となることから、助成要件に当てはまる方に対して、月に2万5000円を上限として交通費の助成を行っている。

問 喜多市以外に通院している方への交通費の助成をもっと手厚くすべきではないか。

答 今後、対象者の方から意見などお伺いしながら、どういったことで、よりよい制度になるか議論していく。

新型コロナウイルス感染対策を継続し市民の不安を払拭すべき!



市長 感染状況を注視しながら必要な対策を講じていく

問 5月8日から感染症法上の位置付けが5類に移行したが、次の第9波に備えながら、新しいウイルスは必ずやってくることを見据え、その対応のためには国に何を要請すべきか、また市で何が

答 制度変更後も新型コロナウイルスの感染は当面続くことが見込まれるため、5月以降も引き続き公費での支援を継続することや、医療現場への支援について要望していく。新型コロナウイルスの感染状況を注視していくとともに、市民への情報発信や感染対策を講じてまいる。

問 市内の感染者、死亡者も分らないということは、一種の情報統制に当たらないか。

答 県からは何も聞かされていない。

問 それでは市民が考えていること、聞きたいという声にこたえていない。しっかりと国・県に申入れをすべきである。

問 医師確保ということについては一定程度理解するが、月50万円、年600万円を一人の医師に補助すること、際限なく続けることには納得できない。市民の税金を民間病院の医師確保と称して補助するには、金額と人数を制限して区別をつけなければならぬ。市の考え方を伺う。

答 検討していく。

山口 和男 議員



塩川町「諏訪町通り」にグリーンベルトの設置を



田中 修身 議員



市長 安全確保を検討し、設置に向けて取り組みを進める

問 御殿場地区の児童が小学校へ通学する際、諏訪町通りを通っている。諏訪町通りは道幅も狭く、通勤時間帯ともなると自動車の往来も多く、保護者からは心配の声が上がっている。

答 グリーンベルトの設置について、市では、毎年、小学校の通学路の安全対策として、学校関係者や交通管理者、道路管理者で組織する通学路安全推進会議を開催し、要望箇所の点検や、対策方法の検討を行い、通学時の安全確保に取り組んでいる。



▲塩川町諏訪町通り

塩川小学校の通学路である諏訪町通りの区間は、令和4年度に塩川小学校から、歩道がなく、児童は路側帯を通学している状況となっており危険であることから安全対策を講じてほしい旨要望された箇所である。

このため、速度規制と、路側帯をカラー舗装するグリーンベルトの設置による安全確保を検討し、関係機関と連携して、実施に向けて取組を進めているところである。

実施までの対応として、速やかに注意喚起の看板を設置したいと考えている。



複合施設2期計画は中止しまちづくり全体で再検討を

市長 予定通り進め、東高校跡地等は別に検討する



矢吹 哲哉 議員

問 旧商業高校、東高校、耶麻農業高校跡地の利活用は。

答 県の方針が示され、東高校、耶麻農業高校については財政支援の対象。

なお、商業高校跡地についても県と協議していく。

庁内に「県立高校跡地利活用検討本部会議」を4月に設置した。各部署から意見を受け検討していく。

問 図書館・厚生会館等の複合施設2期工事基本計画についても、市全体のまちづくりの観点から一体として見直すべきではないか。

答 2期計画については予定通り進める。複合施設完成後、

現在の図書館、厚生会館については、老朽化しており解体を検討している。跡地については、利活用の検討を進めていく。

問 本市は観光都市であるが街中に緑とせせらぎがないことを指摘されている。複合施設2期計画をこのまま進めれば、建物と駐車場だけで緑（植栽）のない施設になる。

50年、100年後の喜多方のまちを考え、旧商業、東高校跡地等と一体に再検討すべきではないか。

答 2期計画見直しの考えはない。

これまで市民の皆さんとのワークショップやアンケート等を行い計画に反映している。1期計画の施設と一体性のある施設として、一層の賑わい、連携が図られる。

AIデマンドバスの予約方法や車両についての改善は？



市長 予約システムの更新や車両入替え時に検討していく

上野 利一郎 議員



問 A-オンデマンド交通の実証運行エリアでの利用者数の比較は。

答 10月から翌年3月までの6か月間を比較すると、令和3年が5441人、令和4年が8531人で、3090人増えており、利用者数は1.5倍になった。

問 予約システムの登録者数とスマホアプリの登録者数は。

答 予約システムの登録者数は2376人で、スマホアプリ登録者数は381人である。

問 オペレータによる電話予約は2回線のためつながりにく

い。また、自動音声電話受付も1回線であるため、今後に向けて、予約方法の改善が必要と思うが。

答 今後エリアが拡大することに伴い、登録者数が増えることから、予約方法については改善の検討をする。

問 高齢者には歩行が不自由な方が多い、低床型の車両や電動ステップ付車両を導入すべきと思うが。

答 運行業者の車両入替え時に、高齢者に対しての利便性に関しても十分検討していく。



▲のるごと喜多方

夢ある街づくり・都市計画の必要性について



市長 今後、いろいろと検討をしていく

問 都市計画を担当できる市職員が大変少なくなってきたいるが、人材の育成について心配はないのか。

答 都市計画に関する政策を策定したり、用地交渉の経験のある職員が、退職したり異動したりで、少なくなっているが、研修等を行って人材の育成を図っていく。

問 市街地の中で人口減による空洞化が著しい地区が見受けられるが、最近、国交省で「柔らかな区画整理」といわれるコンパクトな区画整理の考え方を提唱している。

従来の区画整理よりも事業期間や費用について非常に負担が軽減

されている。
例えば、0.1ha～1ha程度の広さを想定しており、数千万から数億程度の事業費で済むという。

答 空洞化が進む中心市街地、例えば緑町や新道等で、この柔らかな区画整理を利用して夢ある街づくりを実現していくべきだと考えるが、市の考え方を問う。

答 中心市街地の空洞化につきましては、以前より課題が多いと認識しており、それらの区画整理事業を含めて市としての政策的な対応について調査研究し取り組んでいきたい。

伊藤 弘明 議員



旧県立喜多方東高校跡地利用をどうする



渡部 勇一 議員



市長 県の対応方針が示され、県の財政支援等の対象となる

問 県との跡地払い下げに関する話し合いの進捗状況はどうか。

答 市では本年4月中旬に、現地において、県の担当部署と校舎、施設等について現地確認を行うとともに県の財政支援等について説明を受け、意見交換を行った。

現在、具体的検討を行うため必要な施設の情報、譲与の条件、手続等の詳細について提示を求めている。

問 跡地利用計画策定のための庁内体制と取組手法はどうする。

答 市では、利活用について、調査・検討等を行うため「福島

県立高等学校校跡地利用検討本部会議」を4月に設置し、庁内各部署から様々な視点で幅広く意見や提案を受け、検討を進める。

また、市民ワークショップや関係団体等との意見交換の場を設け、議論を深め、利活用の具休案をまとめていく。

議員表彰

令和5年6月14日に開催された全国市議会議長会定期総会において、正副議長を4年以上務めた議員及び永年にわたり市議会議員を務めた議員に対して全国市議会議長会会長より表彰がありました。6月定例会最終日の6月15日に、議長から受賞議員へ表彰状が伝達されました。(写真で紹介している議員のほか正副議長表彰＝故佐藤昭大元議長、20年表彰＝小澤誠前議員が受賞)



五十嵐 吉也 議員
(20年表彰)

山口 和男 議員
(正副議長表彰)

齋藤 勘一郎 議員
(正副議長表彰)
(20年表彰)

請願・陳情

次のとおり審査されました。

本会議で採択された請願や陳情は、市議会の意向を意見書等にまとめ、市当局や関係機関へ、その実現を要望します。(各意見書はホームページでご覧いただけます)



請 願 名 提出者 (敬称略)	趣 旨	委員会 (採択結果)	本会議 (賛成：反対)
請願第4 国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書提出の請願 福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 禎子 外1名	東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子供たちの就学・修学を保障するため、令和6年度以降も全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、十分な就学支援に必要な予算確保を行うこと。	文教厚生 常任委員会 採択	採択 (20：0)
陳情第10 小中学校の統廃合に対する陳情 福田 一成	市内小中学校の統廃合を進め、廃校となった空き校舎については、地区の活性化に資する取組に活用すること。	文教厚生 常任委員会 不採択	不採択 (0：20)
陳情第11 老後の生命を守るための病院の設置を求める陳情 福田 一成	高齢者を守るための夜間専門の病院を設置すること。	文教厚生 常任委員会 趣旨採択	趣旨採択 (20：0)

請願・陳情等

6月定例会審議結果

意見が分かれたもの等

採決で賛否が分かれたものについては下記のとおりです。これ以外の案件などは、全会一致で可決されました。全ての議案名と結果は喜多方市議会ホームページをご覧ください。



議案等名		議員名	議決結果 (議決年月日等)	賛・反対	1 渡部 忠寛	2 田中 修身	3 坂内 まゆみ	4 高畑 孝一	5 山口 文章	6 十二 村秀孝	7 遠藤 吉正	8 菊地 とも子	9 小島 雄一	10 矢吹 哲哉	11 上野 利一郎	12 渡部 一樹	13 後藤 誠司	14 五十 嵐吉也	15 齋藤 勘一郎	16 佐藤 忠孝	17 伊藤 弘明	18 渡部 勇一	19 佐原 正秀	20 齋藤 仁一	21 山口 和男	賛成 討論	反対 討論
議 案 第51号	令和5年度喜多方市一般会計補正予算(第3号)		原案可決 (令和5年6月15日)	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成討論
陳 情 第10	小中学校の統廃合に対する陳情		不採択 (令和5年6月15日)	0:20	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	田中 修身	賛成討論

○は賛成、●は反対、－は欠席、議長(小林時夫)は採決に加わらない。

討論

討論とは、議題となっている案件について、
表決の前に、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

陳情第10 「小中学校の統廃合に対する陳情」 討論

喜多方市における小中学校の統廃合問題は、現在、喜多方市立小中学校適正規模適正配置審議会で審議中であり、喜多方市民の間でも賛否が大きく分かれているところである。

陳情事項は、「市内小中学校の統廃合を進め、廃校となった空き校舎については、地区の活性化に資する取組みに活用すること」となっているが、地域の小中学校には、長い歴史と地域の中心的な役割があり大切な存在である。

地域から学校がなくなってしまうたら、地域のコミュニティーは崩壊し、少子化に拍車がかかり、暮らす地域によって格差が生まれ、地域の衰退にも拍車がかかることは、すでに小中学校の統廃合が進められた

地域を見れば明らかである。

どこに生まれても、どこに住んでいても、一定の教育水準が保障される教育の機会均等を定めたのが日本の教育制度である。

地域住民は子どもたちの成長に励まされ、子どもたちもまた身近な地域で成長するものである。また、少人数でこそ一人ひとりに行き届いた教育ができるものである。このような学校を地域から無くしてはならない。

よって、陳情第10「小中学校の統廃合に対する陳情」に対しては反対を表明するものである。

※賛成討論はありませんでした。

臨時議会が開催されました

令和5年第4回臨時会（5月12日）が開催され、令和5年度喜多方市一般会計補正予算などが提案され、子育て世帯生活支援特別給付金（児童手当支給経費2,750万円、児童扶養手当支給経費2,675万円）等の予算を可決した。

所管事務調査

産業建設常任委員会では、令和4年8月豪雨災害における、山都町一ノ木及び早稲谷地区の災害復旧現場の視察を実施した。

神料堰（仮設ポンプ設置）、大林堰（取水口復旧）、大林堰（隧道復旧）、本木上堰（仮設ポンプ設置）、本木上堰（棚田）等、各復旧現場や、仮復旧工事現場の視察調査を行った。



9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
9/3	4	5	6	7 本会議 (開会、会期決定、 提案理由説明等)	8 休会 (議案調査)	9
10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問)	14 本会議 (一般質問)	15 本会議 (議案審議)	16
17	18 敬老の日	19 委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	20 休会 (事務整理)	21 休会 (事務整理)	22 本会議 (委員長報告、 各案件決定、閉会)	23
24	25	26	27	28	29	30

定例会に行う請願・陳情について

【提出期限】各定例会開会日（招集日）の9日前まで

【提出先】喜多方市議会事務局（市役所4階）

※期限を過ぎて提出されたものは、次回定例会での審査になりますのでご注意ください。

【請願提出に関する必要事項】

請願には必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要になりますので、市議会議員にご相談ください。
陳情の場合は紹介の必要はありません。

詳しくは、議会事務局 TEL 0241-24-5253まで

きたかた FM 議会中継 78.2MHz

定例会の様子を録音放送しています。
開会日の翌週、平日の午後2時～午後5時は、ラジオ放送をぜひお聞きください。

議会 インターネット中継

開会中はライブ（生配信）を視聴できます。
過去の配信映像も視聴できます。



喜多方市議会公式facebookページを開設しています。
<https://www.facebook.com/kitakatashigikai/>



背景の絵柄は「喜多方の染型（県有形民俗文化財指定）」「朝顔」です。

編集後記

市議会の選挙改選後、広報広聴委員会委員も新しく変わりました。コロナ禍によって、市民皆様方との意見交換会が中止されることとなりましたが、本年はコロナも5類に移行し、落ち着いてきましたので、再開することになりました。また、議会においてもモニタール制度を導入するなど刷新することになり、それらの内容をリアルタイムにお伝えできるものと考えております。市民の豊かな暮らしを手助けするためにも、皆様とのつながりを大切にながら、魅力ある情報の発信に努めてまいります。

議会広報広聴委員会



委員長 佐原 正秀
副委員長 十二村 秀孝
委員 田中 修身
山口 孝一
文章 渡部 忠寛
山口 渡部 小島 菊地とも子
和男 渡部 勇一 雄一